

5月下旬の麦巡回調査結果の概要

【対象病害】 さび病（赤さび、小さび、黄さび）、うどんこ病、赤かび病

【東北信】調査日 5月18日、22日、25日

1 小麦

- (1) 黄さび病は、巡回調査地点での発生はみられなかった。
- (2) 赤かび病は、北信地域の巡回調査地点において初期病徴が確認された（写真1）。

※「病害虫発生予察注意報 第1号（5月20日発出）」のとおり



写真1 コムギ赤かび病の初期病徴

- (2) 赤さび病は、北信地域の巡回調査地点では定量的な評価には至らない程度の発生であった。
- (3) うどんこ病は、北信地域の巡回調査地点で発生がみられたが、発病度は平年と比べて低かった。

2 大麦

巡回調査地点では、さび病、うどんこ病及び赤かび病の発生はみられなかった。

3 その他

調査対象外ではあるが、北信地域の小麦ほ場における巡回調査地点では、ホソハリカメムシの越冬成虫の発生が目立った（写真2）。



写真2 ホソハリカメムシの越冬成虫

【中南信】調査日 5月22日、25日、27日

1 小麦

- (1) さび病、うどんこ病は、巡回調査地点での発生はみられなかった。
- (2) 赤かび病は、巡回調査地点での発生はみられなかった。なお、南信地域で罹病穂を確認したが発病程度はごく低かった。
- (3) うどんこ病は、巡回調査地点での発生はみられなかった。

2 大麦

- (1) さび病、赤かび病は、巡回調査地点での発生はみられなかった。
- (2) うどんこ病は、巡回調査地点での発生はみられなかった。なお、調査ほ場以外では、倒伏を伴う生育旺盛なほ場等で散見された。

3 その他

湿害による生育不良や、凍霜害による被害穂は全般に少なかった。また、調査期間中、中信地域の小麦ほ場でウズラカメムシ等がみられたが、カメムシ類の確認頻度は前年に比べて低かった。